

## ■英国：石油メジャーRoyal Dutch Shell、英国小売事業に参入

英国・オランダ石油大手 Royal Dutch Shell は 2017 年 12 月 21 日、英国の独立系小売事業者最大手の First Utility を買収し、同国の電力・ガス小売事業に参入することを明らかにした。ビッグ 6 に次ぐ約 3% の市場シェア（約 82 万 5,000 世帯）を保有する First Utility は、通信会社 First Telecom から独立し 2008 年に小売事業を開始して低価格を武器に急成長したが、2016 年にビッグ 6 が低価格料金での販売を開始したために顧客を奪われ、2015 年の純利益（1,700 万ポンド／約 25 億円）から一転し 2016 年に損失（1,270 万ポンド／約 19 億円）を出していた。Shell と First Utility は、ドイツで 2015 年から Shell のブランド名での共同販売事業を展開するなど、これまでも協力関係にあったが、First Utility は英国で 2019 年 4 月から導入予定の料金上限の適用を受ける需要家が 23% と少ない（英国小売最大手の British Gas は 67%）ため、Shell が買収に踏み切ったと見られている。Shell が First Utility 株式の 100% を買収することで、First Utility を完全子会社化することになる。Shell は将来的な石油需要の頭打ちを見越し、現在エネルギー販売、EV 充電技術、省エネ支援システム開発といった新たな事業への参入を計画・展開している。また、Shell は 2018 年から英国で法人向けのエネルギー販売事業を開始することも既に明らかにしており、英国では既存のエネルギー事業者に加えて、新たに大手石油メジャーが市場に参入してくることになる。